



いわき商工会議所

～地域に愛され、行動し、信頼される会議所を
会員事業所の皆様とともに目指して参ります～

平成30年度 経営発達支援計画実施事業報告

【経営発達支援計画】

小規模事業者支援のため商工会議所が策定する事業計画とその実施への支援、地域活性化にも繋がる展示会の開催等の面的な取組みを促進するため、商工会議所が独自に策定する計画について経済産業省が認定する仕組み。

いわき商工会議所は2011(平成23)年の東日本大震災及び原発事故を受け、2015～2019年度について小規模事業者等の持続的発展を支援する計画を策定。国の「経営発達支援計画」事業初年度となった2015年に、県内商工会議所として唯一の認定を受けることができた。実施年度4年目となり、当所は平成30年度、「いわき地域産業イノベーション展」をはじめ小規模事業者支援や地域活性化を目指し、計画に基づきさまざまな事業を展開した。当所が本年度取り組んだ事業について、紹介、報告する。

01

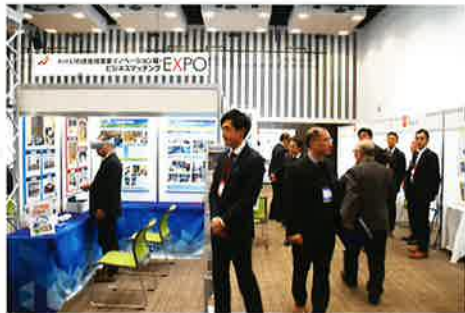


第2回いわき地域産業イノベーション展・ビジネスマッチングEXPO

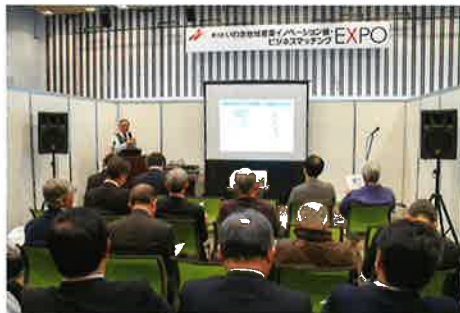


いわき商工会議所創立50周年記念事業として平成29年に第1回目となる「いわき地域産業イノベーション展・ビジネスマッチEXPO2017」を開催した。本年度は、これらの実績や知見を活かし、市内ものづくり企業の更なる支援を行うべく(公社)いわき産学官ネットワーク協会やいわき市と連携して第2回目の展示商談会を開催。今回は、展示出展、ビジネスマッチングのほか、オープンイノベーションによる企業や団体(福島イノベーション・コースト構想推進機構、共栄(株)、東京大学先端科学技術研究センター)のプレゼンテーションや定置式水素ステーションの運用開始を念頭に、元トヨタ自動車のFC開発部部長(FC-Cubic専務理事)大仲英巳氏をお招きして燃料電池車の開発動向に関する講演会を開催した。展示会、商談会、講演会を含めて多数の来場を得て、一定の成果を得ることができた。

- 日時 2019(平成31)年1月31日(木)10:00～16:00
- 場所 いわき産業創造館企画展示ホール
- 内容 市内企業をはじめ、特許庁、東京大学先端科学技術研究センター、日本原子力研究開発機構など政府機関や大学など28社・団体が参加。首都圏企業の商談会やオープンイノベーションによるプレゼンテーションや元トヨタ自動車FC開発部部長 大仲 英巳 氏の講演会などを開催した。



いわき地域産業イノベーション展
企画展示ホールにブースを設置して、いわき市内のものづくり企業が参加し各社の製品や技術を紹介。東京大学先端科学技術研究センターをはじめ、研究機関や団体など多数が参加した。



オープンイノベーションによる講演会
元トヨタ自動車FC開発部部長 大仲英巳氏による燃料電池自動車に関する説明。



ビジネスマッチングEXPO
首都圏の企業と地元企業を結び商談会を開催。各商談では、首都圏企業のOBで組織される経営支援NPOクラブが支援を行った。

【経営発達支援計画】実施内容の主な骨子



02 | メイドinいわき「食」の商談会

- ①趣 旨 いわき市内の加工食品の販路開拓に向け、首都圏などの百貨店や流通バイヤーをいわき市内に招聘するとともに、市内の飲食店や宿泊施設などの関係者に来場を呼び掛け、展示商談会及び個別商談会を実施した。
- ②日 程 2018(平成30)年9月20日(木)(展示商談会・交流懇親会)、21日(金)(個別商談会)
- ③会 場 いわきワシントンホテル椿山荘
- ④主 催 いわき商工会議所
- ⑤協 力 東北六県商工会議所連合会、仙台商工会議所
- ⑥参加サプライヤー いわき市内の食品加工業者 22社(32名)
- ⑦参加バイヤー 首都圏などの流通関係バイヤー 18社(25名)
- ⑧展示商談会来場者 上記参加バイヤーの他、いわき市内の飲食店、宿泊施設、食品卸売・小売業者、行政の関係者など約100名



展示商談会
9/20(木)14:00～17:00
いわき市内の食品加工業者が自社商品や資料を展示。首都圏などから招聘したバイヤーや市内の飲食店関係者などと商談した。



個別商談会
9/21(金)9:00～12:00
市内の食品加工業者が首都圏などから招聘したバイヤーと、1商談25分間の個別商談会を行った。全72商談中、当日成立13件、継続商談が48件となった。

05 | いわきものづくり塾(特別編)廃炉コース

当所では、いわき市、(公社)いわき産学官ネットワーク協会と共同で、市内製造業者の人材育成を目的として「いわきものづくり塾」を実施している。特別編では、イノベーション・ユースト構想における廃炉産業やロボット産業の推進を担う人材育成と廃炉に関する新たな技術開発状況を広く知っていただくために、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の全面的な協力のもと施設見学会と2回の特別講座を実施した。

カリキュラム

- 第1回 2018(平成30)年12月18日(火)
(施設見学会) 楢葉遠隔技術開発センター視察
- 第2回 2019(平成31)年1月17日(木)
(基礎編) 1F廃止措置の現状と原子力機構の取組み
講師 日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門 計画管理室マネージャー 菅浦 信博氏
- 第3回 2019(平成31)年2月4日(月)
(発展編) 1F廃炉課題における産学連携-CLADSの挑戦
講師 廃炉国際共同研究センター研究推進室 技術主幹 田川 明広氏



楢葉遠隔技術開発センターを視察する参加者



第2回講座受講の様子

03 | いわき「食」のブランド化事業

2018(平成30)年度は、日本商工会議所の地域力活用新事業創出支援事業「ヒット商品育成サポート事業(食)」の採択を受け、新たな参加事業者を迎えて、これまで商品開発に取り組んできたサンシャイントマトやいわきカツオを使った商品開発、販路開拓に取り組んだ。

参加事業者

- ・おのづか食品 有限会社
- ・株式会社 いわき遠野らばん
- ・株式会社 貴千
- ・株式会社 美味一膳
- ・有限会社 長久保食品

商品開発・販路開拓について

カツオぶっかけ飯の素/トマトカレー/トマトジュース/カツオを使ったかまぼこ/トマトを使ったかまぼこ/いわき産野菜(トマト含)を使用したピクルス
※開発商品は、デリカデッセントレードショー(於:幕張メッセ)や西武池袋店、伊勢丹浦和店などでテストマーケティングを実施。

開発アドバイザー 食のショールーム・パルズ 代表 山崎 友香氏



開発アドバイザーによる個別面談
年度内3回の個別面談を実施。新商品開発、既存商品改良に向け、専門的アドバイスをを行った。



2/13(水)～15(金)
幕張メッセで開催された「デリカデッセントレードショー」に出展。参加各社とも、来場した多数のバイヤーと商談した。

06 | 企業活性化プロジェクト

6回の研修会で経営戦略を磨く。「タテ型の戦略策定だけでなく、『場のマネジメント』『KT法(問題解決技法)』を活用し、横断的に創発的な戦略形成に重点を置く。

参加企業

- ・(株)いわきチョコレート
- ・(株)トラス企画(株)
- ・木村ミルクプラント(株)
- ・(株)矢吹量一酒店
- ・(株)システムフォワード

講師

統括アドバイザー 元富士フィルムHD・CFO 高橋 俊雄氏
ファシリテーター 場づくり研究所 佐藤 滋氏

実施内容(「場」のマネジメント)

- ①「現状認識の共有、共感」 ②「自社の特徴の認識・共有・共感」 ③「事業目標を腑に落とす」
- ④「ありがたい姿を構想する」 ⑤「変革課題を具体化する」 ⑥「実践計画を作成する」

講師による企業訪問

講師2名が5社を訪問、各社の事業を実際に視察。適切なアドバイスを送り経営戦略策定に大きな役割を果たした。



経営計画を討議する参加者



研修を通じて練り上げた経営計画を発表する参加者



トラス企画(株)を訪問する高橋氏(右前)

04 | 「FCP展示会・商談会シート」ブラッシュアップセミナー

- ①趣 旨 商談を効果的かつスムーズにするためのツールとして注目されている「FCP展示会・商談会シート」について理解を深めるためのセミナーと、新たにFCPシートを作成するとともに、既存のFCPシートを短時間で確実に情報が伝わるよう改良するための演習を実施した。
- ②日 程 2019(平成31)年2月22日(金)14:00～17:00
- ③会 場 いわき・ら・ら・ミュウ
- ④主 催 いわき商工会議所、復興水産加工工業販路回復促進センター
- ⑤協 力 公益社団法人日本水産資源保護協会、一般社団法人日本食育者協会
- ⑥参加事業者 いわき市内の食品加工業者など15名
- ⑦講 師 復興水産販路回復アドバイザー
(一般社団法人日本食育者協会 代表理事) 藤掛 進氏
- ⑧内 容 ①講話
テーマ「FCP 展示会・商談会シート作成のポイント～効果的な商談を進めるため～」
②演習
参加事業者が3つのグループに分かれ、「FCP 展示会・商談会シート」の重要ポイント(商品特性と取引条件、出展企業(自社)紹介、生産・製造工程)の記載内容の見直しを図った。



第1部(講話)



第2部(演習)

07 | いわき地域創業スクール

創業希望者・創業間もない方に対し、経営に関する基本的な知識や役立つノウハウの習得することを目的に開催した。また、既に地元で創業した方を講師に迎え、創業時の体験等を聞き創業に対する心構え等の理解を深めた。

- 日 時 2018(平成30年)
8月24日(金)～9月28日(金)
18:15～20:15(全7回)
- 場 所 いわき商工会議所 会議室1
- 参加者 22名
- 講 師 中小企業診断士 奥瀬 円氏 他 詳細は下記の通り



	日程	講座内容	講師
1	8/24(金)	創業とは何かを知り創業への第一歩を踏み出す 知的資産経営のすすめ	中小企業診断士 奥瀬 円
2	9/3(月)	アントレプレナーのメンタルヘルスと モチベーション	シニア産業カウンセラー 深谷 行弘
3	9/7(金)	マーケティングの基礎	中小企業診断士 新部 勝美
4	9/10(月)	地域創業者による体験談①	中小企業診断士 奥瀬 円 地域創業者 和田 幹之・絵美里
5	9/14(金)	創業に必要な公的手続きと人事労務	社会保険労務士 東 孝俊
6	9/21(金)	地域創業者による体験談②	中小企業診断士 奥瀬 円 地域創業者 渡部 健児
7	9/28(金)	資金調達と公的支援制度の活用 財務会計の基礎知識	中小企業診断士 奥瀬 円 日本政策金融公庫 藤本 真弘

08 | いわき事業承継支援センター

経営者の皆様に「事業承継対策の重要性と早期着手」を理解してもらうためのワンストップ窓口として金融機関・専門家支援機関と連携により「いわき事業承継支援センター」(2017(平成29)年2月)を立ち上げ、各種支援事業の実施や情報提供などを行ってきた。

■支援事業

①個別支援事業

- 事業承継に対する企業の現状把握・集計・分並びに専門家の派遣
- ②意見交換、勉強会の実施; 専門家並びに金融機関との意見交換等の実施
- ③事業承継の重要性・早期着手など経営者意識改革のためのPR事業

■支援実施ステップ

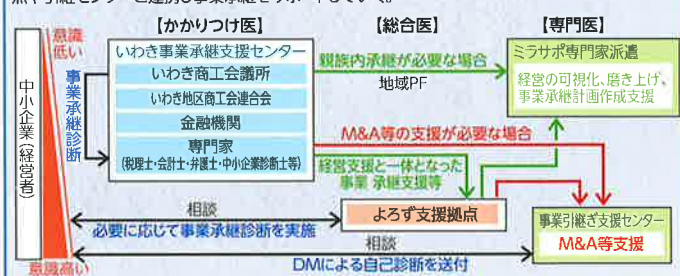
- ☆STEP1 事業承継に向けた準備の必要性の認識
- ☆STEP2 経営状況・経営課題等の把握(見える化)
- ☆STEP3 事業承継に向けた経営改善(磨き上げ)

■2018(平成30)年度実績

- ☆事業承継相談案件処理: 専門家派遣(いわき信用組合連携)
- 事業承継実施における課題(株式など)解決策を中心に説明する。
- ☆巡回指導による「事業承継の重要性」や「早期着手」を中心に、パンフや冊子を配布しながら意識改革を推進した。

■事業承継の支援体制

円滑な事業承継を促すため、国のバックアップの下、「事業承継のかかりつけ医」として地域の商工会議所・商工会、金融機関、土業等により「いわき事業承継支援センター」を設立し、よろず支援拠点や引継センターと連携し事業承継をサポートしていく。

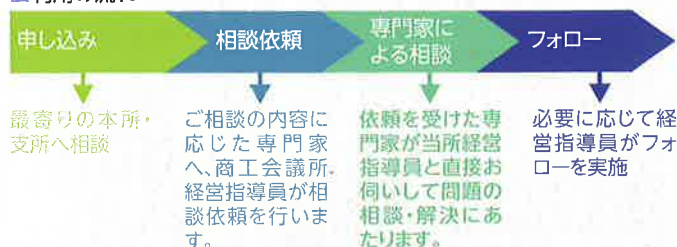


09 | 専門家派遣相談事業

小規模事業者の経営課題を速やかに解決し、円滑な経営をしていただくため専門家の派遣相談を実施している。本年度も経験豊富な専門家の具体的かつ実践的な指導・アドバイスで小規模事業者の経営課題解決に取り組んだ。



■利用の流れ



■対象

※小規模事業者(従業員が商業・サービス業で5名以下、製造業・その他で20人以下の事業者)及び創業予定の方。

■主な専門家(例)

弁護士、税理士、社会保険労務士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、弁理士など

■相談項目

- ①売上拡大 ②販路拡大 ③事業拡大 ④新商品開発 ⑤販促強化 ⑥人材育成 ⑦資金調達 ⑧財務改善 ⑨消費税対策 ⑩雇用対策 ⑪ものづくり ⑫IT活用 ⑬事業承継 ⑭農商連携 ⑮震災復興 ⑯その他の経営課題

2018(平成30)年度は現時点で、のべ71件のご利用をいただいております。

10 | 経営計画作成支援セミナー・個別相談会

小規模事業者の経営環境が大きく変化する中、事業を継続、発展していくためには、計画的に事業に取り組むことが重要と考え、事業計画策定支援の実績豊富な地元専門家による経営計画の作成支援セミナーを開催する。



- 日時 (第1回) 2018(平成30)年 9月25日(火) 13:30 ~ 16:30
(第2回) 2018(平成30)年10月25日(木) 13:30 ~ 16:30
- 場所 会議室1 ●参加者 19名
- 講師 中小企業診断士、社会保険労務士 奥瀬 円氏
中小企業診断士 植松 謙氏
- 参加費 経営計画作成の意義、経営計画の作り方 知的資産経営の重要性

11 | SNS活用セミナー

近年利用者が増えている「インスタグラム」に絞り、集客に繋げるための使い方を中心に、その他のSNS(Facebook、LINE@)等の特性を学ぶ内容で開催した。



- 日時 2018(平成30)年12月14日(金) 14:00 ~ 16:00
- 場所 いわきワシントンホテル椿山荘 ●参加者 23名
- 講師 株式会社ソーシャルスピーカー 代表取締役 久野 雅己氏

参加企業の声

当所では、会員企業の皆様を中心に経営の支えとなるような「伴走型小規模事業者支援推進事業」を展開し、支援を実施してきた。前掲した11つの事業について、参加企業を代表し「トラスト企画株式会社」から事業に参加した感想をいただいた。

トラスト企画株式会社

取締役業務部長 椎名 弘直 さん



- 参加事業 01 第2回いわき地域産業イノベーション展・ビジネスマッチングEXPO
- 06 企業活性化プロジェクト

①事業に参加しての感想

当社は「企業活性化プロジェクト」と「イノベーション展」に参加した。プロジェクト研修会では、経営に関して「なるほど」と思う事が多数あり、また目標へ向かうプロセス・組織の在り方、夢や目標に対するイメージを意識し続けることの大切さを再認識した。展示会参加については、今まで市内企業を知る機会が少なかったため、地元企業との相互理解から将来のビジネスにつながる可能性が出てきた。経営に対する理解が深まったことに喜びを感じている。

②事業で学び、経営にいかせること

プロジェクトで学んだ「場のマネジメント(経営プロセスの方法の一種)」を経営に活かしたい。問題点・課題の吐き出し(抽出)を「ワイガヤ」により各部署の社員を集め実践することで自社の「あるべき姿」が見えてきた。そこへ向かっていくために、今まで社内で不足していたコミュニケーションを図る「場」ができたので、社内で経営目標へ向けたベクトルの一本化が図れつつある。

③いわき商工会議所に求める事

今年度について貴重な事業に参加できたことを嬉しく思っている。今後も商工会議所には地域企業が知り得ない技術や特性のある会社情報の発信、技術マッチング等の支援をお願いしたい。事業を通してものづくりや新たなビジネスモデルの構築等の地域企業活性化につなげてほしい。

いわき商工会議所
中小企業振興部

〒970-8026 福島県いわき市平字田町120 ラトブ6F
TEL:0246-25-9151 FAX:0246-25-9155

いわき商工会議所

検索